

福岡女子大学 平成25年度(2013年度) 教員免許状更新講習一覧

選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に係る事項」(6時間)

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
福岡女子大学	「国語」教材の講読Ⅰ	古典(古文・漢文)に関して、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。	月野 文子(国際文理学部教授兼文学部教授) 工藤 重矩(文学部客員教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月3日	教諭	高等学校及び 中学校の国語教諭	6,000円	35人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53830号
福岡女子大学	「国語」教材の講読Ⅱ	古典を中心に、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。	今井 明(国際文理学部教授兼文学部教授) 大久保 順子(国際文理学部准教授兼文学部准教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月4日	教諭	高等学校及び 中学校の国語教諭	6,000円	35人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53831号
福岡女子大学	「国語」教材への視点	教科書に採択されている国語教材については、作品の一部に留まっていることが多い。本講習では、教材をめぐる、新知見からなる読解の方法の提示や日本語教育との対照など、国語教育に関わる問題を示し、新たな教授法を考える一助とする。	橋本 直幸(国際文理学部講師兼文学部講師) 鈴木 暁世(国際文理学部講師兼文学部講師) 矢野 準(国際文理学部教授兼文学部教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月5日	教諭	高等学校及び 中学校の国語教諭	6,000円	35人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53832号
福岡女子大学	境界を超える「文学」・ 「歴史」・「ことば」	日本の文学及び歴史、また日本語学をめぐる最近の研究動向を踏まえつつ、文学的・歴史学的・語学的な諸問題を講じていく。学際的な手法を取り入れることによって、「国語」教材の研究にも有益となる新たな視点を取り込む。	渡邊 俊(国際文理学部講師) 今井 明(国際文理学部教授兼文学部教授) 坂本 浩一(国際文理学部准教授兼文学部准教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月6日	教諭	高等学校及び 中学校の国語教諭	6,000円	35人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53833号
福岡女子大学	環境問題をわかりやすく多面的に捉える (1)生命と環境の関わり(環境と細胞の分化)	人工光源によって可能となった夜更かし型ライフスタイルや24時間都市などの生活光環境が、ヒトが生得的に持つ生体リズムにどのような影響をもたらすのかについて考えます。また、iPS細胞で明らかになったように、環境条件によって同じ遺伝子情報を持った細胞が異なった細胞に分化するメカニズムについて解説します。	森田 健(国際文理学部教授兼人間環境学部教授) 弓削 昌弘(国際文理学部准教授兼人間環境学部准教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月14日	教諭	高等学校及び 中学校の理科教諭	6,000円	30人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53834号
福岡女子大学	環境問題をわかりやすく多面的に捉える (2)生活のリスク評価と環境データ分析	環境に関する様々なデータが身近に溢れています。それらを有効に利用するための加工・分析ツールについて紹介するとともに、演習を通してそれらの利用方法を解説します。また、日常に潜むリスクについてそれらを把握し、小さくするための方法などを事例を通して解説します。	藤野 友和(国際文理学部講師兼人間環境学部講師) 錦谷 まりこ(国際文理学部准教授)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月15日	教諭	高等学校及び 中学校の理科教諭	6,000円	30人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53835号
福岡女子大学	環境問題をわかりやすく多面的に捉える (3)循環型社会のごみ処理と里山の持続可能性	「3R活動」や「循環型社会」への転換の必要性を理解するため、(1)「ごみ処理」の歴史や廃棄物の現状、(2)循環型社会基本計画や容器包装、家電製品、自動車等の各種個別「リサイクル制度」、(3)経済社会における資源性物質と有害性物質の流れ(ライフサイクル)について概説します。また、持続可能な発展論が登場した背景やその後の展開について環境経済学的な視点から学びます。また、その具体例として里山を取り上げ、持続可能な管理と利用のあり方について議論します。	野馬 幸生(国際文理学部教授) 嶋田 大作(国際文理学部講師)	福岡県福岡市	6時間	平成25年8月16日	教諭	高等学校及び 中学校の理科教諭	6,000円	30人	平成25年4月16日 ～ 平成25年6月30日	平25- 20076- 53836号